



謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

日頃から社協の事業に対して、ご協力とご支援をいただき本当にありがとうございます。

社協は「誰もがその人らしく安心して暮らすことができれば、福祉のまちづくり」を目指して福祉事業を展開していますが、本年も関係機関・団体と協働して、住民の皆さまとともに地域福祉の推進に積極的に取り組みたいと思っております。あわせて、介護保険事業（訪問介護・通所介護・居宅介護支援）についてもまごころを込めたサービスの提供に努め、利用者さまにご満足いただけるよう頑張ります。また、たらい保育園とくめ保育園の運営を行っておりますが、さらに園児と保護者の皆さまから信頼され、地域に愛される保育園を目指して取り組んでまいります。

本年も皆さまの温かいご支援とご協力をどうぞよろしくお願いを申し上げます。



第14回 火の国ボランティアフェスティバル 人吉球磨



よる記念講演がありました。また昼食休憩ではおもてなしアトラクションとして人吉市で醤油店を営みながらご夫婦で音楽活動をされている馬場貞至氏、敬子氏による歌と演奏が披露されました。

県内のボランティア活動のより一層の振興を図ることを目的に、県下のボランティア関係のメイン行事「火の国ボランティアフェスティバル」が14年ぶりに人吉球磨ブロックで開催されました。

今回は、人吉スポーツパレスで県下のボランティア約800人が一堂に会し、「球磨川の流れが繋ぐボランティアの絆と復興への希望の輪」を開催テーマとして、盛り沢山な内容で開催されました。

フェスティバルでは、まずオープニングアトラクションを東方組太鼓踊り（湯前町）、その後「災害復興とこれからの新たなボランティア」と題して「ひまわり亭」や「りゅうきんかの里」の代表を務める人吉市の本田節氏に

午後9時の部はちよこつとボランティア「ささえあい」（湯前町）、手話サークル「わかぎ」（人吉市）、おはなしグループ「おひさま」（山江村）が日頃の活動内容を発表され、「人吉球磨のバスガール」ことあさざり町の上杉芳野氏によるアトラクションがありました。

最後に、開催地引継ぎ式では、次回開催地の阿蘇ブロックボランティア連絡協議会に大会旗が引継がれました。

多良木町からも道案内やボランティアを含めて、約40名のボランティアが参加されました。ご協力いただきました皆さま本当にありがとうございました。



赤い羽根共同募金へのご協力ありがとうございました

『じぶんの町を良くするしくみ』をメインテーマに多良木町でも昨年10月1日から12月31日までの間、赤い羽根共同募金活動が展開されました。各行政区の皆さまからの戸別募金や各種団体・事業所の皆さまには、職域募金にご協力をいただき誠にありがとうございました。皆さまからの募金は、多良木町の福祉事業の財源として社協へ配分され有効に活用させていただきます。

なお、期間中に共同募金の募集にご協力いただきました、区長・隣保班長の皆さま、民生委員の皆さま、各団体・ボランティアグループの皆さま、町内の小中学校・支援学校の皆さまをはじめ、その他関係機関の皆さま本当にありがとうございました。（新型コロナウイルス感染症の感染予防に対して福祉的な配慮により、お祭り会場での街頭募金活動や町内の企業の皆さまにご協力いただく法人募金等は中止となりました。）



次の方々から社会福祉のためにとご寄附をいただきました。皆さまの温かい善意に感謝申し上げますとともに、故人のご冥福を心からお祈り申し上げます。

（敬称略・受付順）



- 高椋 廣子（故 健治） 久1区
- 荻 朱美（故 義勲） 黒3区
- 高橋 文明（故 スミ） 多4区の2
- 椎葉 文代（故 昭榮） 久6区
- 野村 利寛（故 麻） 多2区の2
- 平田 文子（故 久保田ミドリ） 黒2区
- 桑原 穰（故 タツエ） 黒1区
- 田内 教太（故 圭介） 久5区
- 井上 等（故 晴光） 久12区
- 渡邊 文七（故 ミヲ） 久4区
- 宮田 繁親（故 フミエ） 久6区

